

# 入舟 コミ協だより

第27号

発行: '21.3.15

発行所: 入舟地区

コミュニティ協議会

責任者: 田村 幸夫

TEL 223-3532



## 感染症対策中の防災訓練

入舟地区自主防会会長 玉木幸一

全国新型コロナウイルスの感染が拡大している中、昨年10月、令和2年度の入舟地区防災訓練を実施した。入舟コミ協の各町内会長に加えて、豊照地区コミ協役員数名も特別参加した。

今回は感染症対策を考慮した最新の避難所運営マニュアルに準拠するため、参加人数を制限し、2ヶ所の会場で日時を分散して、同一内容での訓練を実施した。

受付して時の対応として、模擬防護服の着用、非接触型体温計で検温した。

更に、住所氏名を記載の後、階段昇降用の補助機、手洗後の菌チェック、プライベート用パーテーション(テント)など展示訓練を実施した。災害時避難者収容人数を考慮した、「分散避難が必要となるのではないか。

尚、訓練実施までに長岡科学技術大学の非公式な支援、又UX新潟テレビ21で当コミ協の訓練検討会議の様子が紹介/放映された。

令和3年度の防災会避難訓練の実施を準備中。  
(次頁に続く)



(前頁の続き)

① 受付での検温



② 手洗いのチェッカー



③ 階段昇降補助機



④ 健常者集合場所



⑤ パーティションの設置



⑥ 4人用テント



元気に楽しく体操しています  
ラジオ体操で「長寿」会長 本田雄三

新型コロナウイルスの感染防止の為、R2年4月から中止していましたが、10月からスタッフの協力のもと「体温測定」「手指消毒」「マスクの着用」を厳守し、部屋の換気、間隔をあけての立ち位置等、感染防止対策を徹底して体操を再開しました。

再開初日は久しぶりの顔に話が弾み、久しぶりのラジオ体操で体を動かし、半年ぶりに楽しい時間でした。

地域の方々の健康作り、仲間づくりの場として参加者の皆さんの喜ぶ顔が見たくて、スタッフ一同頑張っています!!

【毎週木曜日の9:30～コミセン武道場で行っていますので、お気軽に参加下さい。】

(写真を撮る為一瞬マスクを外しています)



## 防犯活動推進の意義

入舟地区防犯協会  
副会長 阿部幹雄

【犯罪の起こらない地域に】と入舟地区防犯協会は、スローガンを掲げています。「自らの安全は自ら守る」「地域の安全は地域で守る」この意識を持って行動する。パトロール活動は、推進委員会を中心に(防犯協会役員)を中心に定期的に活動しています。

街頭指導・合同パトロール・青パト・特殊詐欺防止・地域イベントの安全見守り・小学生の課外授業引率や自転車教室等々に参加し、定例会では、合同パトロールで得た情報及び推進委員の活動で得た「危険箇所点検、改善要望事案等」の報告を行います。

これらの情報は、中央区役所・中央警察署へ要望としても提出されます。

又、防犯通信にも掲載し地域の皆様へ発信します。防犯活動が犯罪者を寄せ付けない抑止力と成ります。又、12/11高性能防犯カメラ3台を設置し作動開始しました。「赤坂町1/西湊町通4/稲荷町団地公園」

児童の安全を守るため、通学路を最優先と考え、新潟市の補助金と防犯協会の一部負担で設置。この設置は希望制とし当該自治会長のご協力を頂き実現しました。

スマホから防犯通信を閲覧できます。

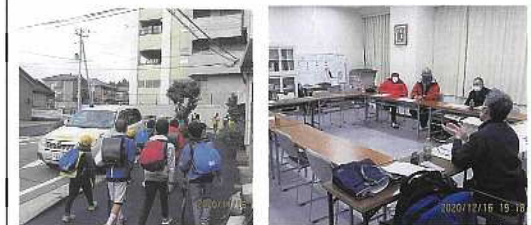


## 活動の様子

街頭指導



推進会議&青パト見守り



特殊詐欺防止広報



自転車教室



## コミ協の活動状況

総務部会 高山ゆり子

- ① 9/25 跡地検討委員会28名)
- ② 10/1 ラジオ体操で「長寿」活動再開(参加40名)
- ③ 10/4 ふれあいウォーキング(中止)
- ④ 10/7 防災避難現地検討会
- ⑤ 10/24 入舟地区避難訓練(コミセン参加80名)
- ⑥ 11/15 入舟地区避難訓練(柳都中参加40名)
- ⑦ 11/15 お互いさまランチ(中止)  
R3年1月と3月のランチも中止となる
- ⑧ 12/19 冬季合同安全パトロール(参加45名)
- ⑨ 令和3年1月 コミ協新年会(中止)
- ⑩ 1/22 跡地検討会(参加19名)
- ⑪ 2/21 日赤入舟分団 救命講習会(中止)
- ⑫ 3/27 年度末合同安全パトロール(予定)

## 「旧コミセン跡地の活用」について

コミ協会長 田村幸夫

1月22日、跡地委員があった。

参加者は委員19名および伊藤市議

経過;昨年9月、旧コミセン跡地利用について、区役所と協議し、住宅及び食料品販売店の2項目を条件とするサウンディング調査した。その結果、参加8業者の内、2社が2項目に、他の2社が販売店のみに興味があるとの返答であり、総括して、住宅との両立は難しく、敷地の大きさから、食料品販売店での単独使用を希望している。最近、①中央区健康センターの一部がコミセンに移設することが決まったこと、



②旧コミセン施設は老朽化で加速し、崩壊の危機に直面しており、一刻も早く解体を要する等の状況変化を熟慮して、前記条件の一部を変更して、食料品販売店単独のみを条件とする案が伊藤市議より提案された。

(5)意見/討論

旧コミセン体育館を残し、避難場所とすることや、子供の施設を誘致できないか?等の意見があった。公共施設の建設や老朽化設備の撤去は単独ではやらないことが全体的に決まっている。※健康センターは? 新コミセンに移設し、消防署前の空き地を駐車場とすることは決定。※スーパーの規模? ☆清水フードよりおおい

(6)結論;旧コミセンの跡地の利用として跡地委員は全会一致をもって、次の要望事項をまとめる。

(6-1)食料品販売店単独を必須条件として跡地に誘致する。

(6-2)上記施設には外階段を設置し、上階を避難場所とする、又施設内にイートインコーナーや百円ショップの設置を希望する。(6-3)これらを可及的速やかに実施できるよう配慮願いたい。

令和2年度受賞者の皆様 おめでとうございます、永年貢献され栄えある表彰をうけられました。

本田雄三



かんぽ生命  
(20年度 ラジオ体操  
優良団体等)個人表彰

桜井千賀子



町内会長10年の  
永年表彰

鈴木正男



交通安全功労者  
新潟県知事表彰

阿部幹雄



防犯功労者  
関東防犯協会連絡協議会長  
及び関東管区警察局長表彰

同時に入舟地区防犯協会が防犯功労団体を受賞

## 編集後記

コロナ禍の不安と混乱の渦中にある。コミ協の活動のほとんどは大きな影響を受けている。特に、大勢の人が参加するイベント(例えば、ウォーキング、避難訓練)や多人数での食事会(ランチ)など約8割の事業が影響を受けた。内容の縮小、変更や中止のやむなきに至ったものも多い。コロナと共生する

ため、働き方改革が求められているので、事業内容の変更や会議開催方法の変更を進め、何とかして実施できるよう努力している。これらの過程を通じ、人と人との絆を見直し、新しい時代の生き方を模索していきたい。

編集委員; 鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、高山ゆり子  
古寺昭治、小島良子、阿部幹雄、風間幸一、宮尾益史